



ザイオソフト/アミン

<http://www.zio.co.jp>

theme **Navigable Intelligent Visualization
for Diagnosis and Treatment**

[主な展示製品] ●3D医用画像処理ワークステーション
「Ziostation2」

肺葉の分割や静脈動脈の分離表示④
大腰筋など筋肉の抽出⑤



今年の展示ブースは、来場者とのコミュニケーションを重視したオープンスペースを中心にしたレイアウトで構成。同スペースでは、プレゼンテーションなども予定している。

◆三次元医用画像認識技術 「Realize」

ザイオソフトは、「Ziostation2」に搭載されている三次元医用画像認識技術「Realize」を、2017年のITEMで初めて公開した。「Realize」は、PhyZiodynamicsから派生したアルゴリズムをもとに、同社がこれまで培ってきた画像処理技術を発展させた新技術である。これまではCT値等の画素値の連続性により形状を判別して行われていた組織の分離などの処理を、

「Realize」では、解剖学的情報を備えた独自の解剖学的認識アルゴリズムと連続性アルゴリズムにより行い、血管、骨、臓器をより正確かつ高精度で抽出する。今年のブースでは、さらに進化を遂げた「Realize」テクノロジーを体験することができる。

さらに、より強化された内科・外科で有用性を発揮するナビゲーション、プランニング等の各種機能や、高精細CTによる画像にも対応した冠動脈解析や肺野気管支測定のアプリケーションを紹介する。

その他、「Ziostation2」の最新バージョンの各種アプリケーション、および今後リリース予定の新機能やアプリケーションも、発表・発売に先駆けて試すことができる。

セミナー情報

4月15日(日)12時～12時50分、司会に高瀬 圭氏(東北大学病院)を迎え、パシフィコ横浜会議センター 313・314にて、「第77回日本医学放射線学会総会 ランチョンセミナー 27」を共催する。

今回のテーマは、「New Horizon of 4D Imaging」。森田佳明氏(国立循環器病研究センター 放射線部)「Ziostation2を用いた心臓MRIの解析と臨床応用」と、長尾充展氏(東京女子医科大学 画像診断学・核医学講座)「心筋CTストレインと冠動脈フローマップで迫る4次元病態解析」の2題の講演が行われる。